

事業者の皆さん
ご存知ですか？

固定資産税(償却資産)の申告制度

「税の申告制度」といえば、市県民税や所得税などの申告が一般によく知られていますが、固定資産税(償却資産)にも申告制度があります。償却資産には、土地や家屋とは違って登記制度がないため、所有者に申告の義務が課せられています。この制度は、事業者(個人を含む)が事業(非営利目的も含む)に使うために所有する資産(減価償却資産)について毎年1月1日現在の状況を申告する制度です。

申告の主な対象 土地・家屋以外で所得税法や法人税法で減価償却資産として計上しているもの(固定

資産台帳・減価償却明細書)から自動車税、軽自動車税の課税対象となるものや無形減価償却資産、生物などを除いたもの


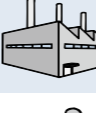




申告期限 償却資産を所有した年の翌年1月31日まで

申告の必要があるにもかかわらず申告しないしていると法令により延滞金や加算金などの対象となりますので注意してください。

また市では償却資産申告の内容について実地調査を行っていますので調査の際はご協力をお願いします。

問い合わせ先 課税課 32・2017

このような資産があれば申告してください！

業種	主な償却資産の内容
 不動産貸付、賃貸マンション、アパート共同住宅、駐車場業(貸付を含む)	外構工事(門扉、塀、緑化施設、側溝など)、ネット、フェンス、受変電設備、広告塔、看板、壁面文字、浄化槽・管理設備、駐車場舗装・設備、外灯、ルームエアコンなど
 製造業、印刷業、倉庫業、卸売業	外構工事、ネット、フェンス、受変電設備、自家発電設備、広告塔、製造設備、動力電源設備など
 建設業、工事請負業、建設機械リース業	ブルドーザ、パワーショベル、大型特殊自動車、発電機、ランマ、タンバ、ロードローラ、パソコン、コピー機、ルームエアコン、看板など
 店舗・小売販売業、料理飲食業	日除け、看板、広告塔、受変電設備、壁面文字、駐車場舗装・設備、ルームエアコン、陳列棚、陳列ケース、カウンター、テーブル、椅子、厨房設備、冷凍冷蔵庫、カラオケ機器、レジスターなど
 理・美容業、医(歯科)業、クリーニング業	受変電設備、広告塔、看板、壁面文字、サインポール、医療機器、駐車場舗装、理美容いす、プレス機など
 ガソリンスタンド、自動車修理業	受変電設備、広告塔、看板、壁面文字、サインポール、浄化槽・管理設備、地下タンク・設備、防火壁、舗装路面、独立キャノピー、洗車機、ガソリン計量器、測定・検査工具など

津山への提言



東北大学多元物質科学研究所理学博士

三頭 聡明さん(宮城県)

今回は、原子核科学を専門とする三頭聡明さんから里地里山の整備について提言をいただきました。

里地里山の保全をベースに自然環境整備を

今般の合併で、津山は文化・教育・物流の拠点都市から、一〇〇〇メートル級の広大な山地を抱える複合都市へと変貌しました。雄大な那岐連峰と、その山頂からの吉井川とため池が陽光に輝く眺めを懐かしく思い出します。それは田畑・里山・漁猟の幸を求めた祖先の営みの遺産であり、いにしえのビオトープの風景です。

近年、林業の不振で全国的に山林と里山の荒廃が懸念されています。これは山林里山だけに限らず、内水面から海に至る多様な生態系を保全するために、見過せない問題です。私が幼いころは、今では珍しい螢・カブトムシ・クワ

ガタムシ・タマムシ・メダカ・ヤツメなどが身近に観察でき、子どもがハヤ・タナゴなどを釣る姿もよく見かけました。このような豊かな自然は日本の誇りであり、山林と里地里山をベースにした複合的な環境を保全することによって、子孫に継承すべきものです。津山はコナラ二次林とアカマツ林の異なったタイプの里山ブロックを抱える特異な立地にあります。森づくり

県民税事業と国の里地里山保全再生事業の推移も視野に捉えて、加茂川・宮川・皿川などの水系から吉井川への環境と生態系が保全・再生・活性化された、若者が定着できる豊かな郷里になることを夢見しています。

三頭 聡明

●みつがしら としあき 昭和19年長崎県生まれ。昭和24年津山市へ転居。津山高専卒業、大阪大学大学院修士課程修了。東北大学金属材料研究所助手、助教授として平成19年3月退職。科学技術庁顧問、動力炉核燃料開発事業団客員研究員などを歴任。

支所

市連合町内会阿波支部に今年4月新設された女性部は、7月15日、愛育委員や民生児童委員、PTA役員などとともに「三宅洋子副市長を囲む会」を開催しました。

副市長の講演後、意見交換会が行われ、女性の柔軟な発想と行動力で阿波地域を盛り上げていこうと、気持ちを新たにしていました。



女性パワーで盛り上げよう！

阿波支所 三宅洋子副市長を囲む会

だより



わくわく勝北っ子

ネイチャークラフト体験

8月9日、勝北公民館で「わくわく勝北っ子クラブ」の子どもたちがネイチャークラフトを体験しました。

ネイチャークラフトとは、野山にあるものを使って工作するもので参加者は「河原の石に絵を描いたペーパーウエイト(文鎮)」や「流木を組み合わせたハンガー」などの作品を子どもらしく表現し完成させていました。